

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称:

株式会社 埼玉ハッコウ 川口工場における、  
ボイラー更新による省エネ事業

排出削減事業者名: 株式会社 埼玉ハッコウ

排出削減事業共同実施者名: 環境経済株式会社

その他関連事業者名:

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社 埼玉ハッコウ
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	株式会社 埼玉ハッコウ 川口工場
住所	埼玉県川口市青木2-7-18
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減事業概要

### 2.1 排出削減事業の名称

株式会社 埼玉ハッコウ 川口工場における、貫流ボイラーのA重油から都市ガスへの燃料転換による省エネ事業

### 2.2 排出削減事業の目的

本事業は、事業所内のボイラの燃料転換を行い、省エネルギーを図るものである。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

①A重油焼き貫流ボイラーを都市ガス焼き貫流ボイラーに更新し燃料転換を行いCO<sub>2</sub>の排出を削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	■はい □いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	■はい □いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

## 3 排出削減活動期間

### 3.1 プロジェクト開始日

2008年9月1日

### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2011年1月1日～2012年11月30日

## 4 温室効果ガス排出削減量

### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

### 4.2 活動量

#### 4.2.1 活動量・原単位

特に無し

#### 4.2.2 活動量の採用根拠

特に無し

### 4.3 事業の範囲(バウンダリー)

川口工場内のクリーニング工程に供給する蒸気熱源施設(ボイラー設備)と蒸気を使用する機器、及びボイラーへの燃料供給設備を本事業の範囲とする。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合)変更理由
Ffuel,PJ	事業実施後(燃料転換 後)燃料使用量	Nm3	560,831.9	・燃料供給会社からの請求書をもとに算定	変更無し
HVfuel,PJ	事業実施後(燃料転換 後)燃料の単位発熱量	GJ/Nm3	0.0448	・デフォルト値を利用	変更無し
$\varepsilon$ PJ	事業実施後(燃料転換 後)ボイラー効率	%	83.5	・計測データ(都市ガス量、ボイラ給水量、 ボイラ給水温度、ボイラ蒸気圧力)をもとに 算定	変更無し
$\varepsilon$ BL	事業実施前(燃料転換 前)ボイラー効率	%	83.6	・計測データ(重油使用量、ボイラ給水量、 ボイラ給水温度、ボイラ蒸気圧力)をもとに 算定	変更無し
CFfuel,BL	事業実施前(燃料転換 前)燃料の単位発熱量 あたりの炭素排出係数	tC/MJ	0.0189	・デフォルト値を利用	変更無し
CFfuel,PJ	事業実施後(燃料転換 後)燃料の単位発熱量 あたりの炭素排出係数	tC/MJ	2010年度 0.01375	・デフォルト値を利用	変更無し
			2011年度 0.01382		

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

$$EM_{PJ} = \sum_{i=1}^i (F_{fuel,PJ} \cdot HV_{fuel,pj} \cdot CF_{fuel,pj} \cdot 44/12)$$

	F <sub>fuel,PJ</sub> : 事業実施後燃料使用量	H <sub>fuel,PJ</sub> : 単位発熱量	CF <sub>fuel, PJ</sub> : 排出係数	EMPJ: CO2排出量
2010年度	74,347.5	0.0448 GJ/Nm3	0.01375	167.9 tCO2
2011年度	292,489.8 Nm3		0.01382 tC/GJ	664.0 tCO2
2012年度	193,994.6		0.01382	440.4 tCO2
EMPj				1,272.3 tCO2

### 7.2 ベースライン排出量

$$Q_{fuel,BL} = \sum_{i=1}^i (F_{fuel,PJ} \cdot HV_{fuel,PJ} \cdot \varepsilon_{PJ} \cdot 1 / \varepsilon_{BL})$$

$$Q_{fuel,BL} = 560,831.9 \times 0.0448 \times 83.5\% \div 83.6\% = 25,095.2 \text{ GJ}$$

$$EM_{BL} = Q_{fuel,BL} \cdot CF_{fuel,BL} \cdot 44/12$$

Q <sub>fuel,BL</sub> : ベースラインエネルギー使用量	CF <sub>fuel,BL</sub> : 排出係数	EMBL: CO2排出量
A重油使用量 25,095.2 GJ	0.0189 tC/GJ	1,739.1 tCO2
EM <sub>BL</sub>		1,739.1 tCO2

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
LE			

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	温室効果ガス排出削減量
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	1,739.1 tCO2
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	1,272.3 tCO2
リークージ排出量 (7.3)	LE	0.0 tCO2
温室効果ガス排出削減量	ER	466 tCO2

## 8 省エネルギー量

原油換算(KL/年)		
ベースライン(①)	実績(2)	ベースライン-実績(①-②)

## 9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2011年1月1日～2012年11月30日)			
	単位	エネルギー使用量	熱量換算(GJ)	原油換算(kl)
		(実績)	(実績)	(実績)